

くらしの 情報館

ホームページアドレス
http://www.city.shirakawa.fukushima.jp/

☎=問い合わせ先
内=内線番号
◇本庁舎 八幡小路7-1 ☎②1111/Fax⑦2577
◇表郷庁舎 表郷金山字長者久保2 ☎③2111/Fax②2234
◇大信庁舎 大信増見字北田58 ☎④2111/Fax④2409
◇東庁舎 東釜子字殿田表50 ☎③42111/Fax③43584

募集

創業応援塾受講者

- 日時 11月29日、12月6日・13日 土曜日/午前10時～午後5時
- 会場 白河商工会議所(道場小路)
- 内容 創業に必要な基礎知識や計画作成に関する講座
- 対象 創業に興味がある、準備中、考えている方などで、全3回の受講が可能な方
- 受講料 3,000円
- 申し込み・問い合わせ先

臨時福祉給付金および子育て世帯臨時特例給付金の問い合わせ先

臨時福祉給付金および子育て世帯臨時特例給付金の専用ダイヤルは、10月31日で終了しました。今後は、担当課にお問い合わせください。

成人式

- 日時 平成27年1月11日(日) / 午後1時30分から
- 会場 ▽白河地域 市民会館 ▽表郷地域 表郷庁舎 ▽大信地域 大信農村環境改善センター ▽東地域 東文化センター
- 該当者 平成6年4月2日から平成7年4月1日までに生まれた方で、11月1日現在市内に住所を有する方(該当者には、案内状を送付します)。
- ※市外にお住まいで、白河市の成人式に出席を希望される方は、お申し込みください。後日、案内状を送付します。

白河商工会議所 ☎③3101 第3回ちよい飲み ツアー参加者

- 日時 11月26日(水)/午後7時～9時
- 定員 30人 ※先着順
- 参加料 2,400円
- 申込期限 11月21日(金)まで
- ※コースは当日発表します。
- 申し込み・問い合わせ先 白河商工会議所 ☎③3101

傾聴ボランティア 養成講座

- すべての講座を受講後、傾聴ボランティアとして活動できる方を募集します。
- 日時 12月1日・8日・15日 月曜日/午後1時30分～3時30分
 - 会場 中央老人福祉センター「白寿園」(北中川原)
 - 講師 会津大学短期大学部講師 木村淳也氏
 - 定員 15人 ※先着順
 - 受講料 無料
 - 申込期限 11月18日(火)まで
 - 申し込み・問い合わせ先 社会福祉協議会 ☎②1159

案内

女性の人権ホットライン 強化週間

- 日時 11月17日(月)～23日(祝) / 午前8時30分～午後7時
- ※22日(土)・23日(祝)は午前10時から午後5時まで
- 内容 女性が抱える人権問題の電話相談(秘密厳守)
- 電話番号 0570-1070-810 (相談は無料)
- ※強化週間以外の日(平日のみ)も午前8時30分から午後5時15分まで相談に応じます。
- ☎福島地方務局人権擁護課 ☎024-534-1994

県南都市計画道路「乙姫塚」 「ナード2号線」変更に係る公聴会

- 日時 12月5日(金)/午後6時30分から
- 会場 本庁舎正庁(5階)
- 《公聴会に係る都市計画案の縦覧》
- 日時 11月11日(火)～25日(火) / 午前8時30分～午後5時(平日のみ)

合同就職面接会

- 正社員で雇用する計画のある県内企業との面接会を開催します。
- 日時 11月26日(水)/午後0時30分～4時
 - 会場 ビッグパレットふくしま(郡山市南)
 - 対象 3月に大学等を卒業予定の方、平成24年3月以降に卒業して現在就職活動をしている方 ※申込不要
 - ☎福島労働局職業安定課 ☎024-529-5396

狩猟解禁

- 日時 11月15日から平成27年2月15日まで(猪は3月15日まで)
- 狩猟が解禁になります。期間中、狩猟者はルールを守り、野山へ出掛ける方は十分に注意してください。なお、狩猟ができるのは、狩猟免許と登録証を所持する方に限られ、それ以外の方が狩猟すると法律により罰せられます。
- ☎本庁舎農林整備課 内2227

男女共同参画講演会

- 日時 11月30日(日)/午前10時～11時30分
- 会場 サンフレッシュ白河(久田野)
- 内容 ▽講演「私らしく、生きる」ルワンダ内戦から私が見たもの ▽講師 NPO法人ルワンダの教育を考える会理事長 カンベンガ・マリールイズ氏
- 定員 50人程度
- 入場料 無料

地域医療講演会

- 日時 11月30日(日)/午後1時30分～3時30分
- 会場 市立図書館りぶらん地域交流会議室(道場小路)
- 内容 ▽講演「安心できる地域医療をめざして」▽講師 杏林大学教授 吉野秀朗氏
- 定員 150人 ※先着順(要申込)
- ☎健康増進課(中央保健センター) ☎⑦2112

地デジ難視聴対策支援の終了

国が実施している地デジ難視聴対策の各種支援制度は、平成27年3月末に終了しました。期限までに地デジ対策工事を完了するには12月中の申し込みが必要です。積雪の影響で工事ができない場合がありますので、早めにお申し込みください。

中心市街地活性化事業

ミニコンサート

小林典夫&ムーディーズ

日時 11月16日(日)／午後4時～5時

会場 えきかふえSHIRAKAWA(郭内)

入場料 無料

福島県ミニコンサート実行委員会 遠藤 ☎090-1496-7610

第110回白河謡曲会素謡会

日時 11月16日(日)／午前10時～午後3時30分

会場 市中央公民館(天神町)

内容 謡曲などの発表

入場料 無料

白河謡曲会 ☎4303

五箇まつり

日時 11月16日(日)／午前8時30分～午後3時30分

会場 五箇市民センター

(田島)

内容 大谷五花村川柳句会表彰式、農産物即売会、新米手すくい取り大会、ステージ発表、白蓮展など

住みよい五箇をつくる会 齋藤 ☎2719

新そばまつり

旗宿産そば粉を使用した手打ち新そばのほか、農産物の販売などを行います。ぜひご賞味ください。

日時 11月22日(土)・23日(祝)／午前10時～午後3時

会場 関の森公園(旗宿)

旗宿そば生産組合 小松 ☎090-3126-8024

新そば交流会

大正琴などの演奏を聞きながら、野出島産そば粉を使用した手打ち新そばが味わえます。ぜひご賞味ください。

日時 11月23日(祝)／午前11時から

午後0時30分から ※午前・午後の部とも80食限定

会場 東多目的研修センター(東下野出島)

参加料 前売 1,500円

(新そば、天ぷら、郷土料理) ※当日は300円増

野出島地域活性化プロジェクト ☎3317

黒羽矯正展

日時 11月23日(祝)／午前9時～午後3時

会場 黒羽刑務所(栃木県大田原市)

内容 裁判員制度の紹介、刑務所内の見学、刑務所作業製品の展示・販売、給食の有料試食会など

黒羽刑務所 ☎0287-1198

天狗山登山

日時 11月23日(祝)／午前9時から(8時30分受付開始)

集合場所 すばらく表郷(表郷番沢)

内容 天狗山の登山、記念品および豚汁の提供、ゴール後お楽しみ抽選会等 ※当日受付で抽選券1枚、事前申し込みで抽選券2枚進呈します。

参加料 500円 おもてごう里山クラブ 山

寺 ☎090-4882-4244

経済講演会

日時 11月27日(木)／午後6時30分～8時

会場 市立図書館(道場小路)

内容 講演「正念場のアベノミクス、地方創生どう実現するか」▽講師 産経新聞社編集委員兼論説委員 田村秀男氏

入場料 500円(一般) (公財) 立教志塾 ☎1427

たんぼば秋まつり

日時 11月30日(日)／午前10時～午後3時

会場 高山コミュニティセンター(新白河)

内容 布紙芝居、おはやし劇場、落ち葉のプール、ワークショップなど

参加料 100円(1家族) ※上履きを持参してください。たんぼばサロン被災者向け支援実行委員会 永野 ☎090-7073-7521

『満州鉄道の栄光』

白河市長

鈴木 和夫



市長の手裡え帖

懐かしい名の麗人が世を去った。中国名、李香蘭。後の参議院議員、山口淑子。類まれな美貌と美声で、戦前の満州(中国東北部)の大スターとなり、日本でも憧れの的となった。「夜来香」は今でも中国で人気の曲。れっきとした日本人だが、中国人女優・歌手としてデビューした。満州に生まれ、父が南満州鉄道の社員に中国語や中国情勢を教える家庭に育ち、完璧な中国語を話した。敗戦後、中国人でありながら日本に協力したとして軍事法廷に起訴されたが、日本人と立証され無罪となった。山口は祖国日本と母国中国のはざままで苦しんだ。これが東アジアの平和と友好に身をささげる背景となった。

さて南満州鉄道株式会社は「満鉄」と呼ばれる。日本は満州から朝鮮をうかがうロシアと激突し、辛うじて勝つ。賠償として、ロシアが有していた東清鉄道のうち南半分にあたる長春〜大連間とその付属地が譲渡された。これを管理運営するため、1906年半官半民の特殊会社として設立されたのが満鉄。その後、清や張作霖等の軍閥が敷設した鉄道を吸収し、満州全土の路線を管理下に置いた。

しかし敗れたとはいえ、依然としてロシアは強大。防波堤としての満州の存在は極めて大きい。満鉄は鉄道会社を装いながら、満州経営の全般を担った。

初代総裁は後藤新平。満州経営の理念を「文装的武備」とした。社会の発展こそ安定の支えであり、軍備より経済、文化教育を充実させる政策をとった。鉄道沿線地で、撫順の石炭開発、鞍山の製鉄、港湾・電力など驚くほど多様な事業を行った。付属地の行政権も持ち、大連・奉天・長春などの都市で近代的都市計画を進めた。複数の大きい広場を真っ直ぐな広い道路で結ぶ。整然と区画された市街地に、上下水道・電気・ガスが整備される。駅や病院、学校や役所は煉瓦造りの堂々たる洋風建物。高い水準の生活、医療、教育を追い求めた。ホテルも際立つ。主要駅に格式高いヤマトホテルをつくった。大連では今も迎賓館として使われている。満鉄はシベリア鉄道を経てヨーロッパにつながる。多くの人・物・情報がいきかう国際路線となり、沿線の都市が発展するにはこれに見合ったホテルが欠かせない。後藤は、ホテルの設備、サービスが国の成熟度を表わす尺度になると考えた。漱石も宿泊し、内装の豪華さに感嘆しつつも「浴衣でぶらぶらできないのか」と言ったとか。

満州は地下水脈で現在につながっている。昭和9年、「あじあ号」という特急列車が登場した。国内平均69kmに対し83km、最高速度130km。蒸気としては驚異的スピードだった。先頭の巨大な機関車は青色の流線形。全車冷暖房、自動ドア、豪華客室、旅心を満たす食堂車。映画監督山田洋次の父は蒸気機関のエンジニア。少年はそびえ立つ運転室によじ登り、レバーやハンドルに触れた。俳優宝田明の父も満鉄の人。黒煙を吹きまく進める姿が目につかび、カランカラン鐘鳴らしホームに入る音が耳に残るといふ。大地を疾走する弾丸列車は満州の誇りだった。東海道新幹線が走り50年。あじあ号は新幹線とつながっている。満州事変後、大陸との人員・物資の往来は増大。新しくレール幅の広い鉄道を敷き、東京〜下関を9時間で走る高速列車の構想が出る。モデルはあじあ号。着工されたものの戦争激化で中止。戦後、新幹線として建設を進めたのが、満鉄理事も勤めた十河信二。70歳を過ぎ、病も抱えていたが、「鉄路を枕に討ち死にする」との覚悟で、混乱期の国鉄総裁を受ける。技師長は島秀雄。父安次郎も広軌化と国内弾丸列車に心血を注いだ技術者。十河は島に「親爺さんの弔い合戦をやらんか」と、引退していた島を呼び戻した。叶わなかった父の夢を息子が引き継いだ。十河は建設の合意と資金の確保、島は車両や運転システムの技術克服に全力をあげた。新幹線の親が十河と島ならば、その親は満鉄とあじあ号といえる。